

## 第2回委員会における主なご意見と対応

---

# 主なご意見と対応(1/2)

項目	番号	主な意見	主な意見に対する対応(案)
(1)施設の規模等に応じた分類について	1	マニュアル中では、大きな分類の方針のみ示し、細かい分類は海岸管理者の運用に委ねてはどうか。	分類は目安として示したものであり、海岸管理者は個別施設毎の状況を勘案して柔軟に分類してよい旨を記載。(資料2 P3)(資料3 第1章1-3(2) P6)
	2	分類の基準について、背後地への影響や施設規模だけではなく、点検の難しさや複雑さ等、施設が持っている特性も考慮する必要がある。	
	3	分類名は点検の頻度を連想する名称がよい。	
(2)臨時点検について	4	臨時点検について、地震又は台風毎に1年に一度丁寧に行う点検レベルで実施するのは手間とコストを要する。地震又は台風の後は、まず目視点検や試運転を実施し、支障があれば詳細な点検を実施するのがよい。	地震・台風等の後は施設の機能が損なわれる可能性があるため、臨時点検の実施の必要がある。水門・陸閘等の臨時点検は土木構造物部分は巡視(パトロール)の点検項目を、設備部分は小規模な設備等の管理運転点検に準じた点検項目を実施する。点検結果に応じて、一次・二次点検と年点検に準じた点検を行う。(資料2 P6)(資料3 第3章3-4 P33)
	5	臨時点検の実施時期は、地震又は高潮を基準にするのではなく、日常点検で目視点検し、その時に異常があれば実施する方針がよい。	
	6	重要な施設に関しては必ず臨時点検を行うが、小規模な施設について全部臨時点検を実施するのは難しいので、施設の分類については、背後地への影響等の観点で分類するのがよい。	
	7	大規模な施設について、目視点検だけでは、電気系統や機械系統も含めた全てがシステムとして稼働するか否か把握できない部分がある。そこで、マニュアルには、大規模な施設の臨時点検について、地震等の後に必ず実施するのではなく、実施の必要性が高まっているという書き方もできる。	
	8	マニュアルの中に、臨時点検を入れられると、絶対に実施するという形になるので、例えば注釈のほうに臨時点検を記載するとか、何かあったときには現地調査して、異常があったら月点検に準じて確認するという表現にしていただけると、非常にありがたい。	
	9	高潮発生後の臨時点検は、高潮発生前に閉じた水門等を開ける際に実施するのがよい。	

# 主な意見と対応(2/2)

	番号	主な意見	主な意見に対する対応
(2)臨時点検について	10	津波等の後は、樋門や水門の海側が漂砂等により埋まることがあるため、臨時点検では樋門や水門の排水機能を点検すべきである。	臨時点検に、水門・樋門・樋管の排水機能に留意する旨を追記。(資料3 第3章3-4 P33)
(3)施設の総合的健全度評価について	11	機械・装置の健全度評価では△に付す数字が増えていくと良い評価になる一方で、総合的健全度評価案では数字が増えるほど評価が悪くなるので、評価方法に整合をとるべきである。	水門・陸間等は、土木構造部の変状ランク(a~d)と水門・陸間等の設備の健全度評価(×~○)を勘案して総合的健全度評価(A~D)を行う。 (資料2 P8-9)
	12	総合的健全度評価案にある「要監視段階」と「予防保全段階」の違いを明確にし、対策を実施することが望ましいとする「予防保全段階」において、どのような状態において対策を実施するのかなどを今後検討していく必要がある。	海岸管理者の意見を踏まえて対応。(水門・陸間等の評価における要監視と予防保全の違いを整理中。)
(4)その他	13	高潮がなくても波浪で施設が損傷することがあるので、「高潮」ではなく「台風」という言葉にしたほうがよい。	マニュアル全体で台風などに伴う「高潮・高波」と記載。
	14	樋管のように、閉鎖機能のみならず、排水機能が重要な構造物もある。	マニュアル全体で「止水・排水機能」と記載。
	15	取替・更新等の標準年数について、河川用ゲート設備点検・整備・更新マニュアルから引用とあるが、水門・陸間等においてもこの標準年数でよいのかどうか、一度整理をする必要がある。	原則としては、河川用ゲートマニュアルの引用で良いと考えるが、海水等による影響を検討。(第4回委員会にて詳細議論)
	16	水門・陸間等はいざという時に閉まることが重要であるため、構造物としての維持管理だけでなく、停電時の対応などシステムとしての維持管理に係る記載が必要である。	停電時のバックアップ電源の確保や統廃合については「津波・高潮対策における水門・陸間等管理システムガイドライン(海岸関係省庁、平成28年3月補訂)」において指針を示している。前書きに同趣旨を追記。
	17	水門・陸間等を管理する上で、統廃合により数を減らしていくことは非常に重要である。マニュアルにおいて統廃合について記載があるとよい。	